



フジッコの森



第56期 報告書

平成27年4月1日から平成28年3月31日まで

Top Message



代表取締役社長

福井 正一

平成28年3月期(連結)

売上高

587億18百万円
(前期比 3.2%増) ↑

営業利益

49億73百万円
(前期比 16.7%増) ↑

経常利益

53億77百万円
(前期比 17.9%増) ↑

親会社株主に帰属する当期純利益

39億20百万円
(前期比 30.1%増) ↑

■ ごあいさつ

株主の皆様には、ますますご清栄のこととお喜び申し上げます。平素は格別のご支援を賜り、厚くお礼申し上げます。

■ 当期の事業環境

当連結会計年度におけるわが国経済は、政府や日銀の経済・金融政策を背景に、企業収益や雇用情勢に一定の改善がみられるなど、緩やかな回復基調で推移しました。一方で、少子高齢化の進行や新興国経済の停滞等による先行き不透明感から消費マインドには依然として弱さがみられ、個人消費の力強い回復までには至りませんでした。

食品業界においては、円安等による輸入原材料価格の高止まりや消費者の根強い節約志向により、厳しい経営環境となりました。

■ 当期の取り組みと業績

このような環境の中、当グループは、“選択と集中”による高成長・高収益性の事業形成に取り組み、カスピ海ヨーグルト事業ならびにOKAZU事業の拡大とともに、コア事業(豆と昆布)のシェアアップに注力いたしました。

また、最終年度となる中期経営計画の目標達成のため、全社結束して販売の拡大及び収益性の向上に努めました。

売上高は、豆製品、デザート製品が堅調に推移し、惣菜製品、ヨーグルト製品が前年実績を大きく上回りました。

利益面では、売上高の増加に加え、売上原価率の改善が進んだことから、営業利益、経常利益、親会社株主に帰属する当期純利益のいずれも2桁成長となりました。

これらの結果、当連結会計年度を含めて7期連続の増収増益とともに、売上高及び営業利益、経常利益、親会社株主に帰属する当期純利益のいずれも過去最高を更新いたしました。

■ 対処すべき課題

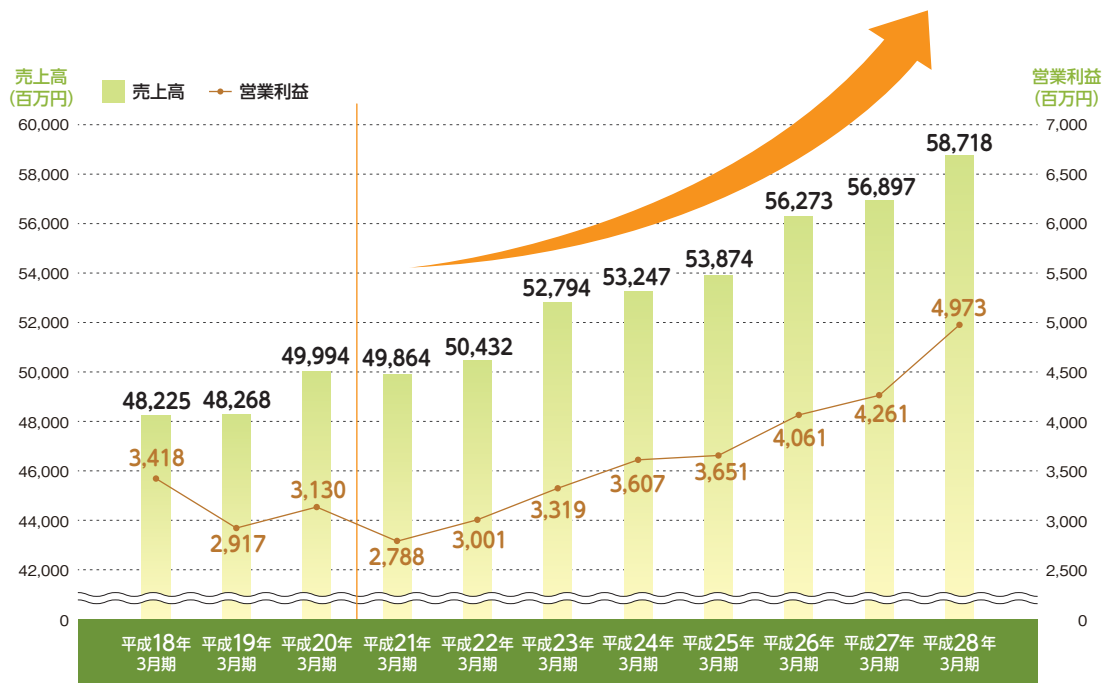
国内経済は、企業収益や雇用情勢の向上を背景に、今後も緩やかな回復基調で推移することが期待されます。一方で、中国をはじめとする新興国経済の減速など予断を許さない状況が続くものと思われれます。食品業界においては、個人消費の回復の遅れや輸入原材料価格の高止まり等により、引き続き厳しい経営環境が続くものと思われれます。

このような状況下、当グループにおきましては、新たな中期経営計画の下、安心・安全のフジッコブランドづくりを進めるとともに、選択と集中による持続的成長戦略の実行、たゆまぬ業務改革とトータル・コストのコントロールによる収益性改善の両輪をもって、中長期的な企業価値の向上を目指してまいります。

株主の皆様におかれましては、今後ともなお一層のご支援、ご鞭撻を賜りますようお願い申し上げます。

平成28年6月

7期連続で増収増益を達成!



営業利益率

8.5%

営業利益率9%を目標に収益性の向上に取り組んでまいります。

※平成28年3月期(連結)数値

1株当たり当期純利益金額

130.45円

収益性の向上と財務体質の強化に努め、1株当たり当期純利益金額の向上を目指してまいります。

※同左

昆布佃煮シェア

47.0%

前期に比べて1.2%アップしました。(第1位)

※インテージ「SCIレポート」より

煮豆シェア

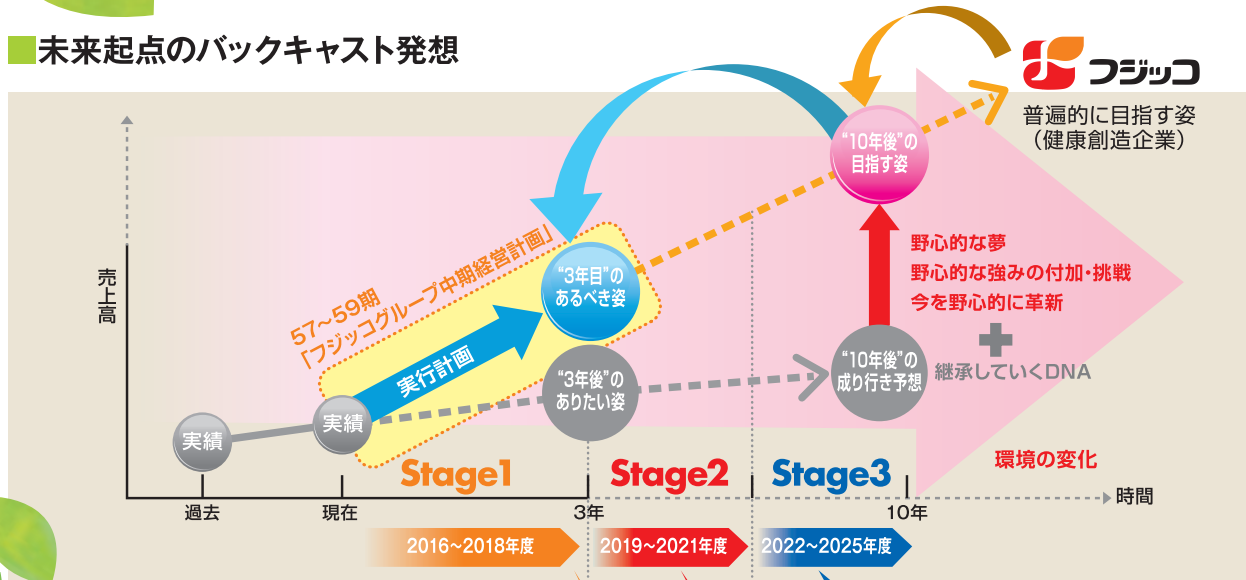
40.9%

前期に比べて0.4%アップしました。(第1位)

※同左



未来起点のバックキャスト発想



今回の新中期経営計画では、フジッコが普遍的に目指す姿「健康創造企業」をイメージすることから始まり、10年後に目指すフジッコの具体像を示し、そのための3年目のあるべき姿を明確にして、3ヵ年計画最終年度までの手段を実行計画に落とし込みました。

これらを『未来起点のバックキャスト発想』と呼び、今までのような成り行きの成長ではなく、高い理想を掲げ、その理想を実現するために桁違いの成長スピードで野心的に取り組んでまいります。

サード・ステージ(2022~2025年度)
飛躍の成就

セカンド・ステージ(2019~2021年度)
飛躍への加速

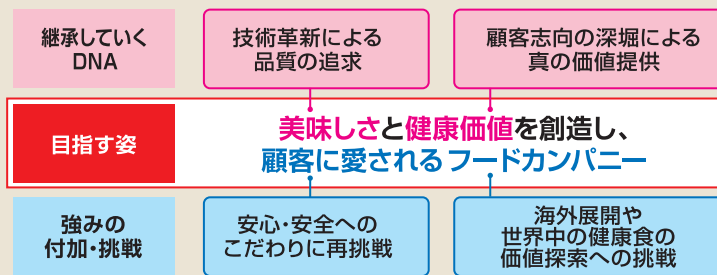
ファースト・ステージ(2016~2018年度)
飛躍に向けた基盤固め

フジッコNEXTビジョン2025

10年後の目指すべき姿と目標を“フジッコNEXTビジョン2025”として取りまとめ、その目指す姿を「美味しさと健康価値を創造し、顧客に愛されるフードカンパニー」としました。

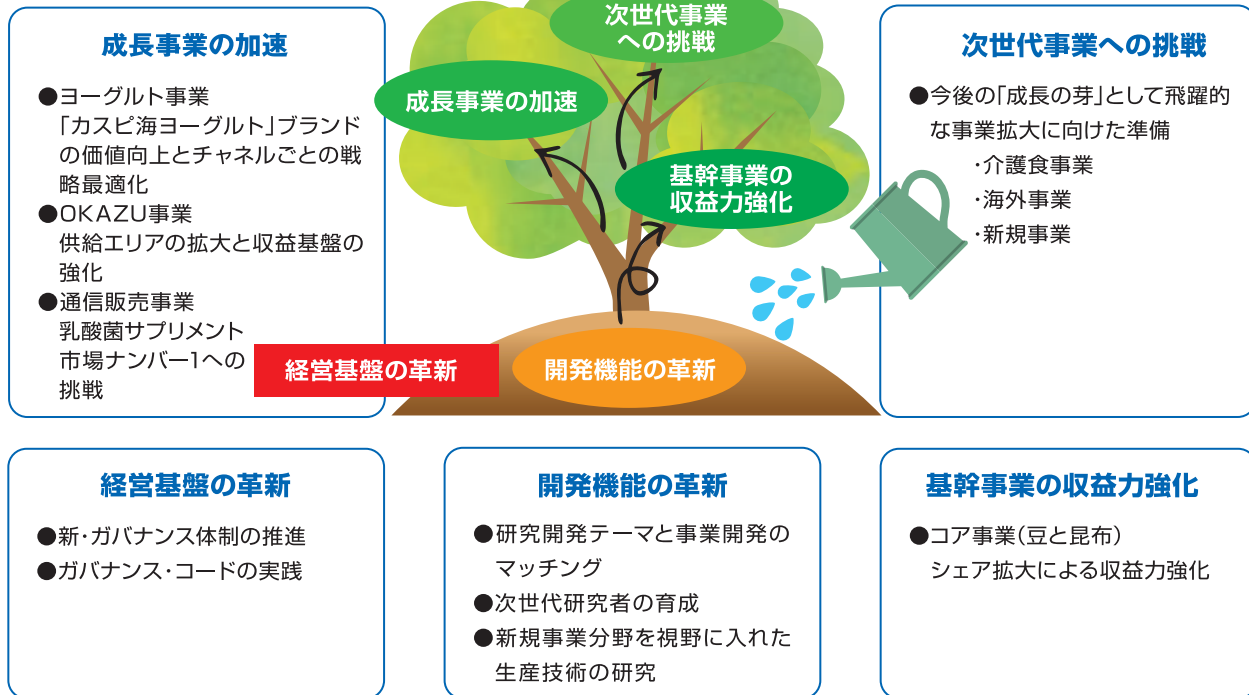
創業以来、培ってきたDNA(美味しさと品質、安心と安全、健康の追求)を大切にしながら、新たな強みの付加に野心的に取り組んでまいります。

新経営ビジョン



“フジッコNEXTビジョン2025”の実現に向け、2016年度よりスタートする新たな3か年の中期経営計画を策定し、2016年5月に発表しました。この3年間で“フジッコNEXTビジョン2025”ファースト・ステージ「飛躍に向けた基盤固め」と位置づけ、将来事業構成を見据えた持続的成長の志向だけでなく、長期的な視点に立ち飛躍的成長を支える企業基盤の強化も重要視しています。

■ 中期基本戦略



■ 数値目標(2018年度)

連結売上高

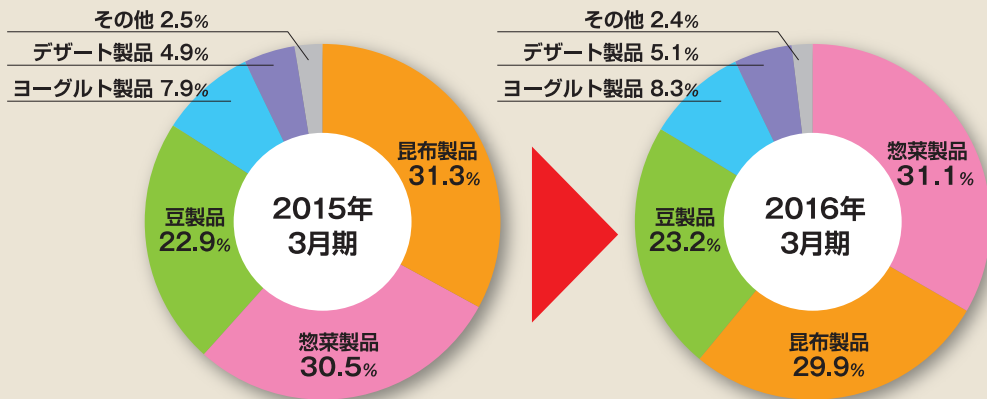
700億円

連結営業利益率

9%(営業利益63億円)

■ 着実な伸長を続けるヨーグルト製品。

惣菜製品は昆布製品を追い抜き売上構成比でトップへ。



「カスピ海ヨーグルト」の販売再開

昨年11月から本年2月まで3ヶ月にわたり「カスピ海ヨーグルト」の生産を一時休止する事態を招き、多大なるご迷惑をおかけいたしましたこと、心よりお詫び申し上げます。

環境管理の強化と生産設備の改善により販売再開となりましたが、今後は純正種菌を受け継ぐメーカーとして、「カスピ海ヨーグルト」の確かな品質を守り続けます。

平成28年
3月16日
読売新聞
全面広告



大豆加工食品で初の機能性表示食品「そのままがおいしい蒸し大豆」

平成27年4月に施行された「機能性表示食品制度」に基づいて申請した「ビーンズキッチン そのままがおいしい蒸し大豆」が、消費者向け大豆加工食品で初めて、「大豆イソフラボン」の丈夫な骨の維持に役立つ機能性表示食品として受理されました。

健康機能のエビデンス研究体制の強化とともに、今後もさらに多くの届出を行ってまいります。



■食育活動



「和食給食応援団」の取り組み

農林水産省の「和食給食推進事業」の取り組みの一環として、全国の小学校で豆や昆布の出前授業を実施しています。写真は平成28年1月12日に町田市立小山田南小学校(東京都)で実施したものです。



シニアの方の栄養に配慮した料理教室

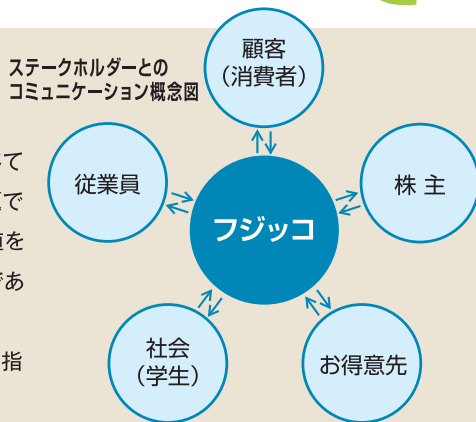
平成28年3月2日に「シニアのためのふだんごはん」と題して、医学博士・管理栄養士の本多京子先生を講師に、講演と料理教室を神戸本社で実施しました。

■安心・安全のブランドづくり

安心・安全のブランドづくりで“ファン”を増やす

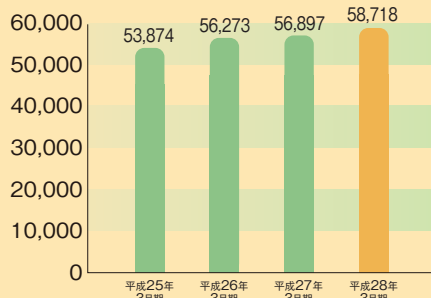
フジッコのミッションは、顧客への“健康に資する食品”の提供を通じて社会に貢献することです。一方、企業としては持続的成長も必須課題であり、そのためには例えば、「安心・安全・健康」といった面で企業価値を高め、ステークホルダーの中で“ファン”を増やしていくことが必要であると考えています。

また、安心・安全のブランドづくりを通じて、顧客の信頼性向上をも目指してまいります。

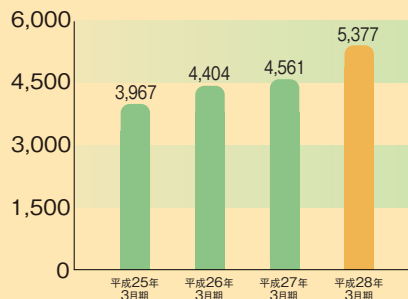


連結財務ハイライト

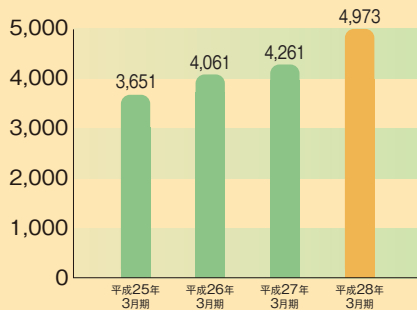
売上高 百万円



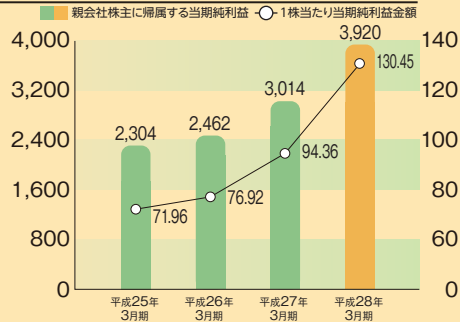
経常利益 百万円



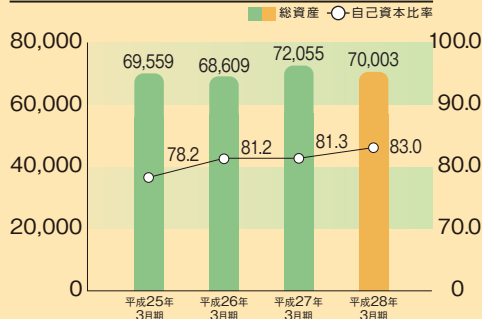
営業利益 百万円



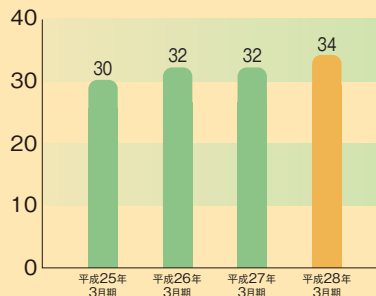
親会社株主に帰属する当期純利益・1株当たり当期純利益金額 百万円・円



総資産・自己資本比率 百万円・%



年間配当金 円



連結貸借対照表		(単位:百万円)	
科 目	前 期 (平成27年3月31日現在)	当 期 (平成28年3月31日現在)	
資産の部			
流動資産	31,744	29,326	
固定資産	40,311	40,677	
有形固定資産	32,140	32,436	
無形固定資産	392	314	
投資その他の資産	7,777	7,926	
資産合計	72,055	70,003	
負債の部			
流動負債	11,059	9,915	
固定負債	2,412	1,977	
負債合計	13,471	11,892	
純資産の部			
株主資本	57,027	56,311	
資本金	6,566	6,566	
資本剰余金	7,302	7,405	
利益剰余金	46,462	49,364	
自己株式	△3,304	△7,024	
その他の包括利益累計額	1,556	1,799	
その他有価証券評価差額金	1,681	1,953	
退職給付に係る調整累計額	△124	△153	
純資産合計	58,584	58,110	
負債純資産合計	72,055	70,003	

連結損益計算書		(単位:百万円)	
科 目	前 期 (自 平成26年4月 1日 至 平成27年3月31日)	当 期 (自 平成27年4月 1日 至 平成28年3月31日)	
売上高	56,897	58,718	
売上原価	34,263	34,510	
売上総利益	22,633	24,207	
販売費及び一般管理費	18,372	19,234	
営業利益	4,261	4,973	
営業外収益	359	456	
営業外費用	59	52	
経常利益	4,561	5,377	
特別利益	328	407	
特別損失	206	45	
税金等調整前当期純利益	4,683	5,739	
法人税、住民税及び事業税	1,681	1,793	
法人税等調整額	△12	25	
当期純利益	3,014	3,920	
親会社株主に帰属する当期純利益	3,014	3,920	

連結キャッシュ・フロー計算書		(単位:百万円)	
科 目	前 期 (自 平成26年4月 1日 至 平成27年3月31日)	当 期 (自 平成27年4月 1日 至 平成28年3月31日)	
営業活動によるキャッシュ・フロー	7,238	4,597	
投資活動によるキャッシュ・フロー	△3,514	△1,702	
財務活動によるキャッシュ・フロー	△2,266	△5,481	
現金及び現金同等物に係る換算差額	△0	△1	
現金及び現金同等物の増減額	1,457	△2,588	
現金及び現金同等物の期首残高	14,774	16,231	
現金及び現金同等物の期末残高	16,231	13,643	



■ 会社の概要 (平成28年3月31日現在)

社名	フジッコ株式会社
本社所在地	神戸市中央区港島中町6丁目13番地4
事業内容	惣菜製品、昆布製品、豆製品、ヨーグルト製品 及びデザート製品等を主体とした食品加工業
創業	昭和35年11月7日
資本金	65億66百万円
従業員	2,149名
工場	兵庫3、埼玉1、千葉1、神奈川1、北海道1、鳥取1
物流センター	兵庫1、埼玉1
営業拠点	全国21拠点
連結子会社	●フジッコワイナリー株式会社 ●味富士株式会社

■ 取締役 (平成28年6月22日現在)

代表取締役社長	福井 正一
専務取締役	奥平 武則
常務取締役	宗形 豊喜
常務取締役	籠谷 一徳
取締役	萩原 郁夫
取締役	山田 勝重
取締役	石田 吉隆
取締役	河内 茂
取締役	北島 幹也
社外取締役	渡邊 正太郎
取締役 監査等委員	山崎 章史
社外取締役 監査等委員	石田 昭
社外取締役 監査等委員	曳野 孝

■ サービスネットワーク (平成28年6月22日現在)



本社	〒650-8558	神戸市中央区港島中町 6-13-4
東京FFセンター	〒112-0013	東京都文京区音羽 1-26-16
北海道東北営業部	〒983-0043	仙台市宮城野区萩野町 2-3-1 オフィスマトビルⅢ 1階
関東営業部	〒344-0041	埼玉県春日部市増富 110
広域営業部	〒112-0004	東京都文京区後楽 1-4-14 後楽森ビル16階
首都圏営業部	〒112-0004	東京都文京区後楽 1-4-14 後楽森ビル16階
中部営業部	〒465-0055	名古屋市中東区勢子坊 1-301
近畿営業部	〒663-8233	兵庫県西宮市津門川町 3-6
中四国九州営業部	〒733-0812	広島市西区己斐本町 3-13-26
デリカ事業部	〒663-8142	兵庫県西宮市鳴尾浜 1-22-5
通信販売事業部	〒650-8558	神戸市中央区港島中町 6-13-4
メディケアフード販売部	〒650-8558	神戸市中央区港島中町 6-13-4
関東物流センター	〒350-2218	埼玉県鶴ヶ島市柳戸町8-21
関西物流センター	〒658-0033	神戸市東灘区向洋町西 6-13-1
北海道工場	〒066-0077	北海道千歳市上長部 1-8
関東工場	〒349-1212	埼玉県加須市麦倉 1501
東京工場	〒273-0014	千葉県船橋市高瀬町 5
横浜工場	〒226-0012	横浜市緑区上山 1-8-2
鳴尾工場	〒663-8142	兵庫県西宮市鳴尾浜 1-22-5
和田山工場	〒669-5212	兵庫県朝来市和田山町柳原 68
浜坂工場	〒669-6732	兵庫県美方郡新温泉町福富字定利 178
境港工場	〒684-0046	鳥取県境港市竹内団地 271
フジッコワイナリー株式会社	〒409-1313	山梨県甲州市勝沼町下岩崎 2770-1
味富士株式会社	〒650-0046	神戸市中央区港島中町 6-13-4



■株式の状況 (平成28年3月31日現在)

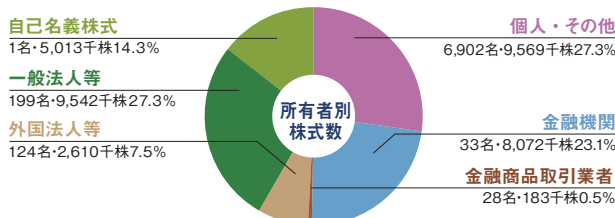
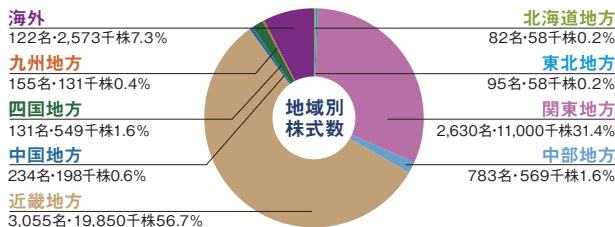
発行可能株式総数	108,000,000株
発行済株式の総数	34,991,521株
株主数	7,287名

■大株主の状況 (平成28年3月31日現在)

株主名	持株数(千株)	持株比率(%)
有限会社ミニマル興産	6,194	20.66
福井正一	1,010	3.37
日本トラスティ・サービス信託銀行株式会社(信託口)	961	3.20
株式会社三菱東京UFJ銀行	895	2.98
住友生命保険相互会社	854	2.84
日本マスタートラスト信託銀行株式会社(信託口)	817	2.72
田中久子	616	2.05
日本生命保険相互会社	550	1.83
株式会社三井住友銀行	494	1.65
フジッコ従業員持株会	476	1.59

- (注) 1. 大株主上位10名を記載しております。
 2. 当社は、自己株式5,013,117株を保有しておりますが、上記には含めておりません。
 3. 持株比率は、自己株式5,013,117株を控除して計算しております。

■株式分布状況 (平成28年3月31日現在)



- (注) 「金融商品取引業者」とは、「証券業」を含む金融商品取引業者を指し、従前の「証券会社」と同様の範囲となります。

株主メモ

事業年度	4月1日から翌年3月31日
期末配当金 受領株主確定日	3月31日
中間配当金 受領株主確定日	9月30日
定時株主総会	毎年6月
株主名簿管理人 特別口座の口座管理機関	三菱UFJ信託銀行株式会社
同連絡先	三菱UFJ信託銀行株式会社 大阪証券代行部 〒541-8502 大阪市中央区伏見町三丁目6番3号 TEL 0120-094-7777(通話料無料)
上場証券取引所	東京証券取引所市場第一部
公告の方法	電子公告により行う 公告掲載URL http://www.fujicco.co.jp (ただし、電子公告によることができない事故、その他のやむを得ない事由が生じたときには、日本経済新聞に公告いたします。)

ご注意

- 株主様の住所変更、買取請求その他各種お手続きにつきましては、原則、口座を開設されている口座管理機関(証券会社等)で承ることとなります。口座を開設されている証券会社等にお問い合わせください。株主名簿管理人(三菱UFJ信託銀行)ではお取り扱いできませんのでご注意ください。
- 特別口座に記録された株式に関する各種お手続きにつきましては、三菱UFJ信託銀行が口座管理機関となっておりますので、上記の連絡先にお問い合わせください。なお、三菱UFJ信託銀行本支店でもお取次ぎいたします。
- 未受領の配当金につきましては、三菱UFJ信託銀行本支店でお支払いいたします。

配当金について

当社定款の規定に基づき、平成28年3月31日の最終の株主名簿に記載または記録された株主または登録株式質権者に対し、次のとおり期末配当金を支払います。

- | | |
|-----------|------------|
| 1 配当金 | 1株につき金17円 |
| 2 効力を生じる日 | 平成28年6月23日 |





この印刷は環境に優しい
植物油インキを使用しています。



食よく、バランスよく。
®

「新・日本型食生活」をめざして



フジッコ株式会社
神戸市中央区港島中町6丁目13番地4